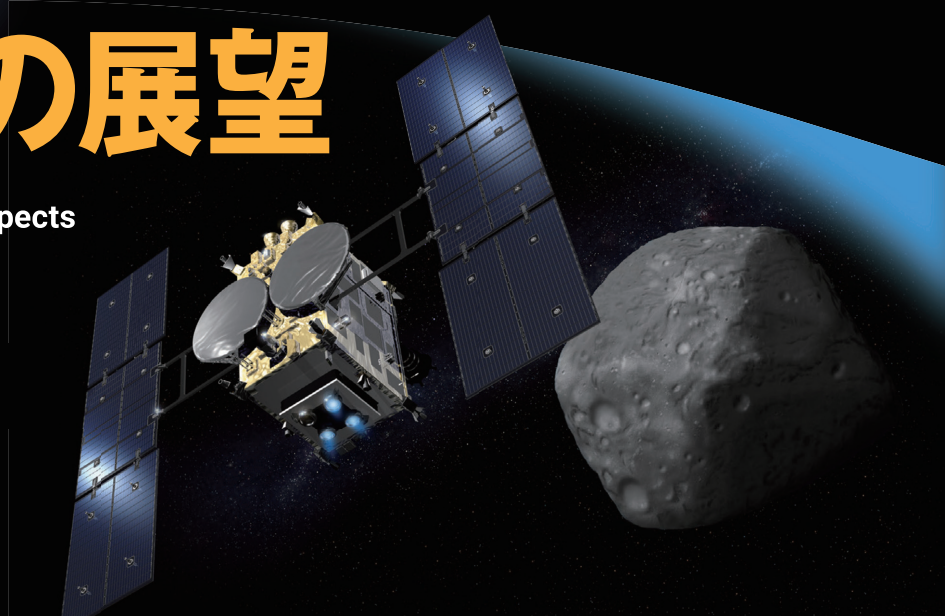


はやぶさ2と今後の 宇宙開発の展望

JAXA“Hayabusa2”Project and the prospects
of the future space development



総会報告

事前に書面審議いただいた結果を、オンラインにて報告いたします。

講演会

開会挨拶 [14:35~14:40]

名古屋大学 副総長、学術研究・産学官連携推進本部長 **佐宗 章弘**

特別講演 1 [14:40~15:40]

探査機はやぶさ2が見た小惑星リュウグウ

名古屋大学大学院環境学研究科教授 **渡邊 誠一郎**



特別講演 2 [15:45~16:45]

JAXA宇宙科学研究所の太陽系探査計画

～はやぶさ/はやぶさ2小惑星探査から深宇宙探査船団へ～

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構理事 宇宙科学研究所長 **國中 均**



7.17



時間

14:00~16:50

【総会報告】

14:00~14:30

【講演会】

14:35~16:50

参加費

無料 (会員限定)

開催方法

Zoomウェビナーにて開催

お申込みされたメールアドレスに、
視聴用URLをお送りします。

※当日は、総会・交流会は開催いたしません。

【お申し込み・お問い合わせ】

参加ご希望の方は、右記事項を記入してE-MailまたはFAXにてお申し込みください。①社名 ②部署名 ③役職 ④氏名 ⑤E-Mailアドレス ⑥電話番号
また、ホームページからのお申し込みも可能ですのでご利用ください。ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

※申込み締め切り 7月9日(金)

【HP】 <http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/industry/about/event/detail/2021-2.html>

名古屋大学協力会事務局 [TEL/FAX] 052-782-1811 [E-mail] kyouryokukai@aip.nagoya-u.ac.jp

事前申込制 (定員200名、先着順)

【共催】名古屋大学学術研究・産学連携推進本部

【後援】中部経済産業局、愛知県、公益財団法人科学技術交流財団、一般社団法人中部産業連盟、一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所、独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部、岐阜大学 地域交流協力会

はやぶさ2と今後の宇宙開発の展望

JAXA“Hayabusa2”Project and the prospects of the future space development

2014年12月3日、種子島宇宙センターから打ち上げられた小惑星「リュウグウ」の探査機「はやぶさ2」は、世界で初めて微粒子を持ち帰った「はやぶさ」の後継機として、生命の起源となる水と有機物を発見するために2012年から開発されました。そして遂に2020年12月6日未明、小惑星「リュウグウ」の探査を終えて地球への帰還を果たしました。

探査対象の「リュウグウ」は水の存在が期待されていることから、おとぎ話の竜宮城にちなんで名づけられたもので、持ち帰った数々の成果への期待は計り知れないものがあります。ここでは、「はやぶさ2」プロジェクトの挑戦物語と、今後の日本の宇宙開発の方向などをお話しいたします。会員の皆様のご参加をお待ちしております。



プログラム

特別講演 1 [14:40~15:40]

探査機はやぶさ2が見た小惑星リュウグウ

名古屋大学大学院環境学研究科教授 **渡邊 誠一郎**

探査機はやぶさ2は炭素質小惑星リュウグウ近傍に1年半滞在して、各種科学観測をするとともに、ローバやランダによる表面その場測定、2回にわたる表層試料の採取、衝突装置による人工クレータの掘削と分離カメラによる放出物の撮像などを行いました。その後、リュウグウを出発し、2020年12月、試料の入ったカプセルの地上投下・回収に成功しました。リュウグウの意外な姿、主要な科学成果、持ち帰られた試料の最新状況などをお話します。

特別講演 2 [15:45~16:45]

JAXA宇宙科学研究所の太陽系探査計画

～はやぶさ／はやぶさ2小惑星探査から深宇宙探査船団へ～

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構理事 宇宙科学研究所所長 **國中 均**

日本は、1970年の「おおすみ」人工衛星にて初めて宇宙進出を達成した。不断の努力により技術は洗練され、「はやぶさ」小惑星探査機は2010年に小惑星サンプルを地球に持ち帰った。その後継「はやぶさ2」は、「おおすみ」から数えて50年目の昨年2020年12月6日に地球帰還を果たした。その先に日本は、独自の技術で20機近い探査機を太陽系に散りばめて、深宇宙探査船団を実現し、単機ではなく複数探査機を群として使いこなし、太陽系46億年の歴史を調べ上げる。

お申し込み・お問い合わせ

参加ご希望の方は、以下事項を記入してE-MailまたはFAXにてお申し込みください。

①社名 ②部署名 ③役職 ④氏名 ⑤E-Mailアドレス ⑥電話番号

また、ホームページからのお申し込みも可能ですのでご利用ください。ご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

※申込み締め切り 7月9日(金)

[HP] <http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/industry/about/event/detail/2021-2.html>

名古屋大学協力会事務局 [TEL/FAX] 052-782-1811 [E-mail] kyouryokukai@aip.nagoya-u.ac.jp